

令和7年度

帰国生入学試験問題

# 国語

(50分)

## 注意

- 1 この問題用紙は、試験開始の合図で開くこと。
- 2 問題用紙および解答用紙に受験番号・氏名を記入すること。
- 3 答えはすべて解答用紙に記入すること。
- 4 字数制限のある場合は、特別な指示がない限り、すべて句読点や「」( )などの記号を含んだ字数として解答すること。
- 5 印刷がわからない場合は申し出ること。
- 6 試験終了の合図でやめること。

東京都立大学等々力中学校

|      |  |    |  |
|------|--|----|--|
| 受験番号 |  | 氏名 |  |
|------|--|----|--|

【一】 次の——線の漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直して答えなさい。

- 1、勝算カチサンのない戦い。
- 2、夕方の残照ザンショウが美しい。
- 3、大仏の開眼カイガンを行う。
- 4、災害からの復興フキウに立ち上がる。
- 5、災ガイいを転じて福となす。
- 6、センモンセンモンの人に任せる。
- 7、コキョウコキョウに帰る。
- 8、教育のキカイ均等キカイを目指す。
- 9、タンジヨウ日タンジヨウを祝ってもらう。
- 10、ジンシャクジンシャクで方位を調べる。

【二】 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「私」の父は、「私」が生まれたころ、仕事シゴト中の事故で左手ヒダリテを失った。その後は右手ミドリテだけで日常生活をこなし、「私」には左手ヒダリテのことを触れさせないふりふりで過ごした。

秋の運動会ウチウチが近づいて来た。成績は普通、顔も普通の私が、運動会では注目を浴びる。足だけは速くて、毎年必ずリレーの選手センシュに選ばれるからだ。

でも、大好きな運動会が近づくと、嬉しい反面ウラタテ、憂鬱ウレツにもなる。お父さんが決まって不機嫌フキケンになるからだ。あの、プールと一緒にいっしょに行こうとねだって怒鳴どなられた時——あの直前ちかのようなムツとした顔で、お父さんは保護者席ホゴシヤで眉間まゆまに皺しわを寄せている。

おまけに、普段は室内の仕事なのに、その日だけ太陽に当たり過ぎるのがよくないのか、運動会の後は決まって太ももが真っ赤はに腫れあがり、その腫れが引くまで不機嫌フキケンが続く。

「お父さん、短パンじゃなくて長いズボンを履いてきたら？」と言ってみたけれど、不機嫌な表情で首を振る。

来たくないなら来なければいいのに、と思うし、そんなお父さんの前で、リレーで一着になったからとはしゃげるわけもない。お父さんが来なかったらもともとと楽しめるのになあ、と思う。でも、毎年春になって年間行事予定がわかると、お父さんはカレンダーにさっさと運動会の日を書き込んでしまうから、何となく言い出しづらい。

運動会の一週間前、お母さんにプログラムと、保護者が行ってもいい場所やカメラやビデオ撮影の注意が書かれたプリントを渡した時、「今年は来なくていいってお父さんに言っ」と言おうと思った。最後の運動会くらい、伸び伸び楽しみたかったから。不機嫌なお父さんの顔は見たくなかった。

でも、そう言う前に、お母さんが②しみじみとした調子で「もう運動会に行くのも最後なのねえ」と呟いた。私が来年通う予定の中学校は、仕事で参加できない保護者も多いからと、平日に生徒だけで体育祭をやるのだ。

「最後だから、お弁当、ごちそう作るからね」と張り切るお母さんに、「お弁当もいいけど、今年こそ写真、ちゃんと撮ってよね」と私は注文をつけた。毎年、お母さんは写真を撮ってくれるけれど、「えっ、これだけ？」と言ってしまふほど少なく、その少ない写真もブレたり、画面が斜めになっていたりする。

仕方なく、仲のいい友達に頼んで私が写っている写真を分けてもらうけれど、その子がメインの写真だから、私は写真の片隅で向こうを向いたり、変な顔をしていたりする。もちろん、リレーでテープを切った瞬間の写真なんてない。

せめて、最後の運動会くらい、きちんとした写真を——③特にリレーで走る姿をしっかりと残しておいてほしかった。

お母さんが黙って俯いた。しまった、と私は慌てた。これじゃあ、せっかく写真を撮ってくれるお母さんをいじめてるみたいだ。「あ、でも、お母さんが撮る写真って、すごく動きがあつて迫力があるよね」と苦しいフォローを入れたけれど、お母さんはじつと俯いたままだ。

どうしよう、とオロオロしていると、お母さんがやつと顔をあげた。

「美知。お母さんから聞いたって絶対言っちゃだめよ——④運動会の写真ね、全部、お父さんが撮ってるの」

えっと私はお母さんを見つめた。学校行事の時、父兄が撮影用に三脚を持ちこむことは禁止されている。コンパクトカメラだけれど、片手の父が撮影するのはかなり難しいはずだ。

「どうやって——？」

お母さんが楽しそうに笑って、自分のちよつと厚みのある肩をポンポンと叩く。

「ここにね——お母さんの肩にカメラ置いて、シャッターを押すの。お母さんの肩、ちよつと高い高さだと太さみたい」

でもお母さんだって応援で興奮したり、拍手もする。どうしても揺れてしまう。周りに人も大勢いるから、お父さんだってどうしても手元が定

まらない。

「ブレちゃうし、お母さんの髪の毛とか前の人の頭ばっかり写ってたり、結構フィルムもムダにしてるけど——でも絶対、自分で撮りたいからって。お父さん、頑固なのよね」

何度もシャッターを押して、やっと数枚、

私は口を尖らせた。

「どうして黙ってたの。お父さんが撮ってるんだったら、仕方ないって思うのに」

お母さんが寂しそうに笑った。「それよ。お父さん、美知に仕方ないって思ってたほしくないんじゃないかな。もっと上手に撮ってよ、って他の子みたいに言ってほしいんだと思う」

でも、片手しか使えないお父さんに、そんなことは言えない——私が黙り込むと、お母さんが笑って、頭を撫でてくれた。

「だから、美知が文句を言えるように、お母さんが撮ってるってことにしてるのよ。アンタは優しい子だから、お父さんにそういうふうには言えないのはわかってるから」

お母さんが私の顔を覗きこんだ。

「ね、お父さんって運動会の日は機嫌が悪くなるでしょ」

お休みなのに応援に来るのが面倒だからでしょ、と言うと、お母さんは首を振った。

「いつも、保護者と参加するスプーンリレー、お母さんが出るでしょ。他の子はみんなお父さんが出るのにな」

スプーンリレーは親子で手を繋ぎ、空いた手で小さなスプーンに乗せたピンポン玉を運ぶから、片手しか使えないお父さんは出られない。いつもお母さんが走ってくれる。

パン屋さんに勤めるお母さんは、余ったパンを貰ったり買ったりするせいで少し、いや、けっこう太めで運動が苦手だ。だから、足が速い私と組んでも、どうしてもビリになってしまう。

「お父さんね、自分が片手しか使えなくて、参加できないから美知に申し訳ないって思ってるのよ。片手しか使えないことは仕方がないことなんだけど、娘に普通の父親ができることをしてやれなくて悔しいの」

お母さんはちよっと太いお腹をつまんで笑う。

「お父さんたら私に、おまえがもつと速く走ればいいのにとか、ダイエットしろとかって文句も言えなくて、<sup>⑤</sup>ぐつと堪えてるから不機嫌そうな顔になってるだけなのよ」

そうだったんだ——私は運動会のプログラムに目を落とした。今年もお昼休憩の後に、保護者参加のスプーンリレーという文字が入っている。

「でも……そんなイヤな思いするなら、来なくてもいいのに……」

そう言った途端、母が笑いながら、すごい力で背中を叩いた。

「やあね！　いくらスプリンリレーで悔しい思いしたって、運動会は絶対見に行くわよ。お父さん、アンタが一着でゴールするの楽しみにしてるんだから。会社の人とか近所の人にね、『うちの娘がまた運動会のリレーのアンカーに選ばれてね』とか『今年もまた一着で――』なんて自慢しちゃってるのよ」

うわ、知らなかった、恥ずかしい。私は真っ赤になった。

「お母さん、そんなのやめさせてよ」

どうして、とお母さんは涼しい顔だ。

「お父さんもね、子どもの頃から足が速かったんだって。ずっとリレーでアンカー」

誰かさんと同じ、とまた笑う。

それも知らなかった。私はだんだん腹が立ってきた。お父さんは私に何もかも隠して、教えてくれない。腕の傷跡のことも、運動会を楽しみにしてることも、写真を撮っていたのがお父さんだってことも、昔リレーの選手だったことも。

それ以上お父さんの話を聞きたくなくて、私は自分の部屋に行こうとした。

「そうだ、ついでにもう一つ教えてあげる」と言われて、私は振り返った。「お父さん、運動会の日、太ももが真っ赤に腫れるでしょ」

私は頷いた。日差しで荒れるなら長ズボンにしたらいいのに、と何度言っても聞いてくれなかった。

「お父さんたら、俺は美知に何もしてやれないから、せめて応援だけは人の倍はしてやるんだって、ものすごく大きな拍手をするからよ」

拍手。片手の父が拍手――？　B とした私に、お母さんが優しく微笑みかける。

「他の保護者みたいに、頭の上で拍手とかできないから、代わりに太ももを思い切り叩いて、大きな大きな拍手をするのよ。特に、アンタがゴールした瞬間は必死で叩いてる。音が大きくてすっごく目立つんだから」

――それも知らなかった。走ることに夢中で保護者席など見てないからだ。ただ、他の学年の子がゴールした時よりも、すごく大きな拍手を浴びているのは分かっていた。私があるすごく速いからだろうと思っていた。

なんだ――あれはお父さんの拍手だったんだ。

泣きそうになつて私はぎゅっと唇を噛んだ。お父さんはズルい。どうしてそういうことまで内緒にするんだろう――悔しくて、悲しくなった。

知らないから、私は今まで一度も運動会の後、お父さんにありがとうを言ったことがなかった。来てくれてありがとう。写真を撮ってくれてありがとう。太ももが腫れるほど拍手してくれてありがとう。そんなこと、一回も言ったことがなかった。

「お父さん、美知が一着になるの、C、応援に来なくていいなんて、言っちゃだめよ」  
お母さんの言葉に、私は涙がこぼれないように小さく頷いた。

お父さんは<sup>⑥</sup>ズルくて優しい。だから、絶対、最後の運動会も今までみたいに全部、私に内緒にするだろう。絶対、私に「ありがとう」を言わせてくれないだろう。

夜、布団の中で私は天井を見つめながら考えた。

どうにかして、お父さんに六年分の「ありがとう」を言いたい。お父さんも一緒に運動会を楽しんでほしい。でも、どうしたらいいんだろう——？

(リンダブックス編集部編「99のなみだ 第二夜『二人三脚』」より)

(注)「父兄」……保護者のこと。

問 一、——線①「嬉しい反面、憂鬱にもなる」とありますが、それはなぜですか。その理由として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア、スプリンリレーでお母さんと一緒に走るのは楽しいが、走るのが苦手なお母さんを見てお父さんが不機嫌になるから。
- イ、足だけは速いので運動会ではリレーの選手として注目を浴びることができるのに、不機嫌なお父さんに怒鳴られることがあるから。
- ウ、毎年リレーの選手に選ばれるのは嬉しいが、一着でゴールしてもせっかくな撮った写真がブレてお父さんが不機嫌になるから。
- エ、運動会では普段とは違って活躍する様子を見せることができるが、不機嫌なお父さんを見るのが嫌だったから。

問 二、——線②「しみじみとした」の意味として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア、その場の感情に走らない
- イ、心の底から深く感じる
- ウ、落ち着いていて動じない
- エ、全く気にかげず平気な

問 三、——線③「特にリレーで走る姿をしつかり残しておいてほしかった」とありますが、このときの「私」の気持ちとして最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア、これまでの運動会の写真は数も少なく出来が悪かったので、友達に頼んで写真を分けてもらっていたが、今年は友達に迷惑をかけたくないという気持ち。
- イ、これまでの運動会の写真は数も少なく出来が悪かったが、最後の運動会では得意なリレーくらいきちんとしたものを残してもらいたという気持ち。
- ウ、中学生になると運動会が平日に生徒だけで行われるので、来年からは見ることができない両親の思い出としてきちんとした写真を残してもらいたいという気持ち。
- エ、中学生になり運動会が平日に生徒だけで行われると、友達から写真を分けてもらうこともできなくなるので、最後の思い出として残しておきたいという気持ち。

問 四、——線④「運動会の写真ね、全部、お父さんが撮ってるの」とありますが、このことを「美知」に黙っていた理由について文章中ではどのように述べていますか。最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア、お父さんは娘から感謝されることが照れくさいから。

イ、お父さんは運動会を楽しみにしていることを娘に知られたくないから。

ウ、お父さんは娘に気をつかってほしくないから。

エ、お父さんは娘から写真のことを責められたくないから。

問 五、Aにあてはまる言葉として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア、かろ辛うじて

イ、いやおう否応なしに

ウ、じ満を持して

エ、じ万全を期して



問六、——線⑤「ぐつと堪えてるから不機嫌そうな顔になっただけなのよ」とありますが、ここから読み取れることとして最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア、「私」は、運動会に対するお父さんの消極的な気持ちが不機嫌そうな顔に表れていると考えているが、お母さんは、お母さん自身に対するお父さんの不満が不機嫌そうな顔に表れていると考えている。

イ、「私」は、運動会に対するお父さんの批判的な気持ちが不機嫌そうな顔に表れていると考えているが、お母さんは、お母さん自身に対するお父さんの不満が不機嫌そうな顔に表れていると考えている。

ウ、「私」は、運動会に対するお父さんの消極的な気持ちが不機嫌そうな顔に表れていると考えているが、お母さんは、お父さんの悔しさが不機嫌そうな顔に表れていると考えている。

エ、「私」は、運動会に対するお父さんの批判的な気持ちが不機嫌そうな顔に表れていると考えているが、お母さんは、お父さんの悔しさが不機嫌そうな顔に表れていると考えている。

問七、Bにあてはまる言葉として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア、ハツ      イ、キョトン      ウ、ドキッ      エ、ムツ

問八、Cにあてはまる言葉を文章中から十一字で探し、抜き出して答えなさい。

問九、——線⑥「ズルくて優しい」とありますが、これはどのようなことですか。それを説明した次の文の空欄にあてはまる言葉を、それぞれ指定された字数で考えて答えなさい。

「私」がお父さんを誤解してしまうほど、お父さんが、1、十五字以内 いたことをズルいと感じ、同時にそれが 2、十字以内 であることに気がついて優しいと感じているということ。

③ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。なお、設問の都合上、一部省略した箇所があります。

では、漢字の読み方についても少し詳しく考えてみましょう。まず、中国での本来の発音を日本語風にまねたものが「音読み」です。ただし、もとの中国語に比べ、日本語の音の種類が比較的簡単なため、たくさん「漢字の音読みの同音異義語」ができています。実際、漢和辞典の索引などを見ると、いろいろな音読みに対する漢字が挙げられています。多いところでは、例えば「コウ」という音読みをする漢字には「公、工、港、高、甲」など、たくさんものがあります。ある漢和辞典で見たとくろ、四〇〇字以上ありました。いくつ思いつくか、どの読み方がいちばん多いのか、などのゲームをしても楽しいかもしれません。

しかし、①このことは、逆に言えば、漢字を使わないで平仮名だけを使い、「音」で言葉を表した場合、どういう言葉なのがわかりにくいということでもあります。音読みの漢語の場合、意味やニュアンスに注意が必要です。

よく似た漢語でありながら、漢字が違うという場合があります。よく問題になるものとして、「規正」（正しくする）と「規制」（制限する）、「決裁」（権限のある人が決めたり許可したりすること）と「**A**」（品物や代金の受け渡しをして取引を終えること）、「的確」（要点を押さえる）と「適格」（資格などに適合する）などがあります。「基準」と「規準」もその例で、前者には「判断などのものになるもの」、後者には「手本になるような」というニュアンスがあります。これらは二通りの書き方があるものですが、三つあるものもあります。「追求」（利益をもとめる）と「**B**」（真理をもとめる）と「追及」（問題や責任をもとめる）などです。

使い分けを考えて迷うこともあります。そんなときには、漢字の意味を考えるといいでしょう。特に、その漢字を使った漢語にどんなものがあるのか、その意味はどんな意味か、を考えると参考になります。例えば、「規正」と「規制」では、前者の「正」に対して、後者では「規則で制限する」といった意味の「制」が使われています。

そもそも意味的によく似ていて、違いがわかりにくいものもあります。「標示」「表示」の違いはその例でしょう。ほとんど同じでも交通関係では「標示」の方を使い、食品などでは「表示」を使います。よく道路に菱形の図形が書いてありますが、信号機などがない横断歩道や自転車横断帯があることを示す「指示標示」です。「標」には「目印」という意味があるからで、「表」とは違っているのです。これは、「道路標識」「表記」のような漢語での字の使い分けに反映されています。

このように、様々な漢字がそれぞれに異なる意味を持って、使い分けられています。考えようによっては少々ややこしくもあるのですが、表意文字としての②漢字ならではの表現の豊かさだとも言えるでしょう。

(中略)

③漢字の使い分けの問題は、訓読みの場合にもつとよく問題になります。漢字の意味を日本語での使い方当てはめて、そのまま日本語の読み方

として使うのが「訓読み」です。例えば、もともと「早」「速」という中国語での漢字と、「はやい」という日本語の言葉は、別々に存在していました。中国語での「早」「速」という別々の漢字の意味が、たまたま日本語での「はやい」という言葉に対応したのです。日本語では漢字の「早」と「速」に対して同じ言葉を使っていたと言い換えてもいいでしょう。そのまま、「早」「速」という漢字の読み方にしたのが、訓読みの「早い」「速い」です。ですから、日本語の読み方が一つでも、それに当てはまる漢字が複数あり得るのです。「はやい」の例で言えば、もともとの漢字の使い分けに対応して、「時間的に早い」「動き方が速い」というように「早」「速」が区別されることになります。

意味的な対応がもう少し複雑なものの場合、日本語でもともと同じ言葉だったということが意識されにくいこともあります。例えば「おさめる」は、「納める」「収める」「修める」「治める」などの漢字が対応します。古い時代の日本語での「おさめる」「おさむ」という形でしたが）は、おそらく「(しまい)こんで あるべき状態にする」とでもいった意味だったと考えられます。これに対して、その時代の中国語でそれに当てはまる概念として、「納、収、修、治」などという漢字がありました。その結果、「C」 という意味では「納」「収」を使い、「D」 という場合には「修」という漢字を使うことになっています。そして、政治などのもう少し広い意味で「E」 という場合には「治」という字を当てて「治める」と読むわけです。漢字で書くときとまるで違った言葉であるという印象がありますが、同じ「おさめる」という訓読みであることを考えるならば、それぞれの意味には本来つながりがあったと考えることができるでしょう。

ですから、漢字の使い分けを考える場合、それぞれ漢語としての使い方をヒントにして意味を考えればよいと言えます。「納税」「収納」「修学」「治世」などの言葉があることから、「税金を納める」「荷物を収める」「学を修める」「世の中を治める」などの使い分けをすることがわかるわけです。

このように、中国の漢字を日本語の中に取り入れたときに、そもそも、中国語と日本語には言葉としての違いがあったということが漢字を使い分けるようになった原因です。日本語では本来一つの間接概念であっても、漢字を使ってどのように書くかを考えると、そこには漢字なりの言葉の使い分けがあつて、いろいろな意味による使い分けができるのです。

こうした④漢字の使い分けは、意味にかかわる点で注意が必要です。

(中略)

例えば「彼はかたい」などと平仮名で書く場合、その意味はどうでしょうか。彼の考え方が古いままだという意味なのか、それとも、<sup>⑤</sup>信頼できるという意味なのか、本来に彼の「体のかたさ」について書いているのか、いろいろな可能性があることになります。その「体のかたさ」といっても、筋肉質で物理的に硬い<sup>かた</sup>という意味での「硬さ」と「体を柔軟<sup>じゅうなん</sup>に折り曲げにくい」という柔軟性における「固さ」というように、さらに二通りの意味が考えられます。文脈によっては、どの意味で使っているのかがわからなくなってしまう場合や誤解をしてしまうような場合もあるかもしれません。漢字の使い分けは意味の区別に役立つのです。

ちよつと漢和辞典などを開いてみて、「どの字を使って書くのがいいのかな」と考えることも文字を使う上での<sup>⑥</sup>愉しみであり楽しみではないでしょうか。

(森山 卓郎 「日本語の〈書き〉方」より)

(注)「ニュアンス」……言葉などの微妙な意味合い。

問 一、——線①「このこと」とはどのようなことですか。文章の内容をふまえて二十字以内で考えて答えなさい。

問 二、

|   |
|---|
| A |
|---|

・

|   |
|---|
| B |
|---|

 にあてはまる漢字をそれぞれ二字で答えなさい。

問 三、——線②「漢字ならではの表現の豊かさ」とありますが、それはどのようなことですか。最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア、様々な漢字がそれぞれに異なる意味を持っているので、使い分けによって意味の細かな違いを表現できること。

イ、様々な漢字がそれぞれに異なる意味を持っているので、自分なりの表現の工夫を加えることができること。

ウ、様々な漢字が意味に合わせて使い分けられているので、人間関係に合わせた自由な表現ができること。

エ、様々な漢字が意味に合わせて使い分けられているので、相手の受け取り方を自在に変えることができること。

問 四、——線③「漢字の使い分けの問題は、訓読みの場合にもっとよく問題になります」とありますが、それはなぜですか。その理由が述べられた一文を文章中から探し、最初と最後の五字をそれぞれ抜き出して答えなさい。

問五、

C

E

にあてはまる言葉として最も適当なものを次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア、社会をうまくあるべき状態にする
- イ、あるべき場所にあるべきものをしまいこむ
- ウ、壊れている物があるべき状態に直す
- エ、知識や技能を身につける

問六、——線④「漢字の使い分けは、意味にかかわる点で注意が必要です」とありますが、それはなぜですか。その理由として最も適当なものを

を次から選び、記号で答えなさい。

- ア、「きのう」を「昨日」のように漢字で書くと、改まった感じがするから。
- イ、「名」と「名前」のように、どちらの漢字にも同じ意味を含むものがあるから。
- ウ、「交代」と「交替」のように、厳密な使い分けを気にしなくてもよいものもあるから。
- エ、「変わる」と「代わる」のように、発音が同じでも異なった意味になるから。

問七、——線⑤「信頼できる」とありますが、「かたい」がこの意味で使われているものとして最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア、心の中でかたい決意をする。
- イ、二人はかたい絆きずなで結ばれている。
- ウ、彼女はかたい表情をしていた。
- エ、彼からかたい情報を得た。

問八、——線⑥「愉しみであり楽しみではないでしょうか」とありますが、これはどのようなことですか。次に挙げる「愉」と、「楽」の意味を参考にし、最も適当なものをあとから選び、記号で答えなさい。

「愉」……不安や不快が取り除かれて、晴ればれとしたのしいこと。

「楽」……（「音楽」の意味から転じて）心がワクワクしてたのしいこと。

ア、漢字を使い分けることは面倒だが、正確に書くことができると、考えが整理されて楽しくなるということ。

イ、漢字を使い分けることは難しいが、何となくでも正しい漢字を選べるようになると、気分が高まって楽しくなるということ。

ウ、漢字の使い分けに対する心配から解放されて、漢字を使い分けて書くことに心が弾んで楽しくなるということ。

エ、漢字をどのように使い分ければよいか気がかりに思いながらも、文章を書くことさえできれば楽しくなるということ。

問題は次ページに続きます。

〔四〕 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。各段落上の〔1〕～〔5〕は、形式段落の番号を示します。

〔1〕 不世出(注1)のエース、稲尾(注2)和久さんは新人時代のキャンプで連日、打撃投手(注3)をさせられた。同期はブルペン(注4)で練習しているのに自分は先輩から打ちやすい球を投げると怒られ続け、みじめだった。

〔2〕 だが①それがよかった。漫然とではなくコースを意識して投げるうちにプロに必要な制球力がついたからだ。「毎日こんなことをさせやがってと怒っていたらそれで終わっていた」とかつて本紙で述懐(注5)していた。

〔3〕 就職活動が本格化しているが、与えられた仕事が不満でせつかく入った会社をすぐに辞める若手が増えた、と人気企業の採用担当者が嘆いて(注6)いた。退社には様々な事情がある。毎日がつまらなくて、もつと向いている職場が他にあると思う人もいる。

〔4〕 でもそこで立ち止まり、退屈に思える仕事に自分なりの工夫を凝らすのも良いかもしれない。それで力がつき、大きな仕事を任される可能性だってある。

〔5〕 1勝もできない苦しい年が稲尾さんにもあった。「一生は良い事ばかりでなく悪い事ばかりでもない。②ピンチを迎えても次にチャンスがあると思えば辛抱できる」。若手でなくとも③噛みしめたい『鉄腕』の言葉だ。

(読売新聞「編集手帳」より)

(注1) 「不世出」……きわめてすぐれていること。

(注2) 「キャンプ」……公式戦開催以外の時期にチームで泊まり込んで行う練習。

(注3) 「打撃投手」……打者の練習のために投球をする人。

(注4) 「ブルペン」……投球練習場。

(注5) 「本紙」……読売新聞のこと。

(注6) 「述懐」……考えていることや思い出を述べること。



問 一、——線①「それ」とありますが、その内容を説明した次の文の空欄にあてはまる言葉をそれぞれ指定された字数で答えなさい。ただし、1は文章中から抜き出し、2は文章中の言葉を使って答えること。

|      |     |      |
|------|-----|------|
| 1、四字 | に連日 | 2、十字 |
|------|-----|------|

ことばかりさせられたこと。

問 二、——線②「ピンチ」とありますが、これを言い換えた言葉を文章中から四字で探し、抜き出して答えなさい。

問 三、——線③「噛みしめたい」とありますが、筆者がこの文章を通して言いたいのはどのようなことですか。最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア、困難な状況に陥ったときは、その状況から一度離れて冷静に考えることで解決策を見つけられるということ。
- イ、不遇な時であっても、自らの目の前にあることにひたむきに取りくんでいけば、やがて道が開けてくるということ。
- ウ、与えられた仕事が退屈であれば、無理に続ける必要はなく、新しい道を探すべきだということ。
- エ、与えられた仕事が不満なら、それを避ける方法を見つけることが成功への近道だということ。

問 四、この文章の段落構成として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

|    |   |   |   |   |   |
|----|---|---|---|---|---|
| ア、 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| イ、 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ウ、 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| エ、 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

|         |  |       |  |   |                 |  |     |  |  |   |                   |  |  |  |  |  |  |  |  |   |                      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |
|---------|--|-------|--|---|-----------------|--|-----|--|--|---|-------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|---|----------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---|
| 4 3 2 1 |  |       |  | 四 | 8 7 6 5 4 3 2 1 |  |     |  |  | 三 | 9 8 7 6 5 4 3 2 1 |  |  |  |  |  |  |  |  | 二 | 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 一 |
| 2 1     |  | E D C |  |   | B A             |  | 2 1 |  |  |   |                   |  |  |  |  |  |  |  |  |   |                      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |   |

(受験生はこれより上段には記入しないこと)

|    |    |    |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |     |
|----|----|----|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 四  |    |    |   | 三  |    |    |    | 二  |    |    |    | 一  |    |    |    |    |     |
| 問三 | 問二 | 問一 |   | 問八 | 問六 | 問五 | 問四 | 問三 | 問二 | 問一 | 問九 | 問八 | 問七 | 問四 | 問一 | 6  | 1   |
| 問四 |    | 2  | 1 |    |    | C  | 最初 |    | A  |    | 2  | 1  | 11 |    |    | 7  | 2   |
|    |    |    |   |    | 問七 | D  |    |    | B  |    |    |    |    | 問五 | 問二 | コ  | 残   |
|    |    |    |   |    |    | E  |    |    |    |    |    |    |    | 問六 | 問三 | キ  | 照   |
|    |    |    |   |    |    |    | )  |    |    |    |    |    |    |    |    | 8  | 3   |
|    |    |    |   |    |    |    | 最後 |    |    |    | 20 | 10 |    |    |    | キ  | 開   |
|    |    |    |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | カ  | 眼   |
|    |    |    |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | イ  | 復   |
|    |    |    |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 9  | 4   |
|    |    |    |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | タ  | 興   |
|    |    |    |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | ン  | 災   |
|    |    |    |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | ジ  | (い) |
|    |    |    |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | シ  |     |
|    |    |    |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | ヤ  |     |
|    |    |    |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | ク  | い   |
|    |    |    |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 10 | 5   |

注意事項

・解答は解答欄の枠内に濃くはっきりと記入して下さい。  
 ・解答欄以外の部分には何も書かないで下さい。

氏名

受験番号

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1 | 1 | 1 | 1 |
| 2 | 2 | 2 | 2 |
| 3 | 3 | 3 | 3 |
| 4 | 4 | 4 | 4 |
| 5 | 5 | 5 | 5 |
| 6 | 6 | 6 | 6 |
| 7 | 7 | 7 | 7 |
| 8 | 8 | 8 | 8 |
| 9 | 9 | 9 | 9 |

評価点

帰国生入学試験問題

〔国語〕

解答用紙